

こども主体の学びを目指して

学校長 栗栖 光美

4月に進級してから、早いもので半年が過ぎました。10月9日(金)には「期分け式」が行われます。

この日には、学校から各ご家庭へ「前期あゆみ」をお渡しします。「あゆみ」では、こどもたちそれぞれに、身に付けてほしい力や学習の習熟度などの学習状況をお伝えしています。これは保護者の皆様にお知らせするだけでなく、こども自身が自分の頑張りを客観的に振り返り、今後の学びにつなげていくための大切な道しるべでもあります。

今年3月に策定された「横浜市第5期教育振興基本計画」では、「こども主体の学び」の実現が掲げられています。こどもたちが興味や関心をもって他者と協働しながら主体的に学ぶこと、そして学習活動を振り返りながら次の学びへとつなげていくことを通して、自ら学びを創り出す力を育むことを目指しています。

これからの社会では、教師が一斉に課題を与え、全員で同じ課題に取り組むだけではなく、こども自身が自分に合った学び方を選び、主体的に学んでいく力が求められます。そのためにも、どのような学び方があるのかを知り、自分は何を学ぶのかを理解することが大切です。また、自ら学びを進めるための基礎となる知識や経験を積み重ねていくことも必要です。

私たち教職員も、こどもたちに自ら学ぶ力を育むために、授業でのこどもたちの様子を振り返りながら、よりよい授業づくりに向けて取り組んでいます。こどもたちだけでなく、教職員もまた学び続け、成長し続ける存在でありたいと考えています。

期分け式の後には、担任から一人ひとりに前期の頑張りの成長を伝え、今後への励ましの言葉を添えて「あゆみ」を渡します。ご家庭でも、一緒に前期を振り返り、成長した点やできたことをたくさん褒めて、励ましの言葉をかけていただければ幸いです。

